

## 第1学年3組国語科指導案

### 1 単元名 ぶんをつくろう

### 2 単元について

○本単元は、学習指導要領の第1・2が学年の指導事項に示されている「文の中における主語と述語の関係に注意すること。」を受けて設定されている。低学年を通して行われるその学習への第一歩を踏み出すためのものである。本教材では、きつねが主人公の4コマストーリーが挿絵と文で示されており、述語部分が空欄となっている。この空欄にどんな言葉が入るのか、児童が自分で発見したり考えたりするヒントになるように、主語は赤い線で、述語は青い線で囲みである。赤い線、青い線の部分と絵を照らし合わせながら空欄に入る言葉を想像したり考えたりする活動を通じ、主語に対応する述語があることに気づかせたい。また、文の終わりには句点を付けることについても意識させる。

### 3 単元の目標

◎絵を見ながら、主語と述語を結び付けて文をつくり、書く力を身につける。

観点	観点別目標
関心・意欲・態度	文をつくることに関心を持ち、進んで主語と述語を結び付けて文を作ろうとする。
話すこと・聞くこと	主語と述語を結び付けた文をみんなに分かるように話す。
書くこと	主語と述語を結び付け、意味の通った分を書く。
読むこと	主語と述語を意識して、はっきりと読む。
言語事項	主語と述語の関係に注目して文を作る。 句点の打ち方を知る。

### 4 学習計画と評価計画（4時間扱い 本時2／4）

時数	学習活動	評価基準（評価方法）
1 本時	<ul style="list-style-type: none"><li>挿絵を見て、きつねがなにをしているかを興味をもって話す。「きつねが はしる。」を例文として、示す。</li><li>主語を「さる、ぶた」にして、「…が…する。」の文を作る</li><li>「はなのみち」四場面の挿絵（動物）を使</li></ul>	<p>◎「さる、ぶたが…」という形の文を正しく作ることが出来る。〔書くこと〕</p> <p>○挿絵を見て、さる、ぶたのしていることを進んで話そうとしている。〔関・</p>

	<p>って、「…が…する。」の文を作る。</p>	<p>意・態]</p> <p>○主語と述語が合うように注意している。〔言語〕</p> <p>○主語と述語を意識して、「…が…する。」の文をはっきりと読む。〔読むこと〕</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物以外の「ひまわり、こま、くるま」を主語にして「…が…する。」の文を書く。</li> <li>・ 挿絵を見て「…が…する。」の文をお話を作ってみる</li> </ul>	<p>◎「…が…する。」の文型に合う文を作り、書くことが出来る。〔書くこと〕</p> <p>○挿絵を見て、動物のしていることを進んで話そうとしている。〔関・意・態〕</p> <p>○文の終わりには、句点「。」を付けている。〔言語〕</p> <p>○主語と述語を意識して、「…が…する。」の文をはっきりと読む。〔読むこと〕</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「…が…する。」を2つに分けたカードを使い、めくったカードの動作をして、当てるゲームをする。</li> </ul>	<p>◎「…が…する。」の文型に合うような動作を進んですることが出来る。〔関・意・態〕</p> <p>◎友達の動作を見て、「…が…する。」という文を書くことが出来る。〔書くこと〕</p> <p>○主語と述語を意識して「…が…する。」の文をはっきりと読む。〔読むこと〕</p> <p>○文の終わりには、句点「。」を付けている。〔言語〕</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの主語を使い、ペアで短いお話を作る。</li> <li>・ ペアで交代でジェスチャーをし、他の児童が当てる。</li> </ul>	<p>◎「…が…する。」の文型に合う文を作り、書くことが出来る。〔書くこと〕</p>

		と] ○ペアで協力し、お話を作る。〔関・意・態〕 ○文の終わりには句点「。」を付けている。〔言語〕 ○主語と述語を意識して、「…が…する。」の文をはっきりと読む。〔読むこと〕
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

◎「…が…する。」の文を使って、簡単なお話を作り、発表する。

### (2) 展開

学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	主な支援留意事項	時間 (分)
1 挿絵をみて、きつねが何をしているか興味をもって話し、めあてを確かめる。  〔めあて〕ぶんを書こう。	◎きつねはどうしていますか。 ・はしる。 ・はしった。 ・はしっています。 ・とんだ。	○「きつねがはしる。」をノートと一緒に書く。 (ICTの利用) ・句点の指導 ・「きつねが…」になるように書かせる。	5
2 「きつねがはしる。」の文(最初の例)をワークシートに書く。	◎きつねがどうしたか、それ以外に書いてみましょう。  ◎…の部分には動作・様子が当てはまったことに気づいたかな?	○文を動作で示し、主語と述語の二つがあるということに改めて、気づかせる。	

<p>3 p 40の挿絵を使って、主語を「さる、ぶた」にして、「…が…する。」の文を作る。</p> <p>4 既習「はなのみち」四場面の挿絵を使って、「…が…する。」の文を作る。</p> <p>5 「…が…する。」の意味を使えようになったか聞く。</p>	<p>◎さるはどうしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ちました。</li> <li>・落ちた。</li> <li>・落ちる。</li> </ul> <p>◎ぶたはどうしましたか。</p> <p>◎「はなのみち」のお話しの動物はどうしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥が飛ぶ。</li> <li>・りすが走る。</li> <li>・くまが呼ぶ。</li> </ul> <p>◎「…が…する。」によって、文が出来るということを確認する。</p>	<p>○実際は述語部分に入れる言葉はいろんな形があるが今回は終止形の形に絞っていく。</p> <p>○教師はノートを見て回り、正しく書けているかを確認する。</p>	<p>15</p> <p>25</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	---------------------

